

令和4年3月28日

沖縄県議会議長

赤 嶺 昇 殿

派 遣 議 員

団 長

西 銘 啓史郎

大 城 憲 幸

大 浜 一 郎

上 里 善 清

玉 城 武 光

仲 村 未 央

翁 長 雄 治

同 行 議 員

新 垣 光 栄

上 原 章

「おきなわ彩発見キャンペーン事業の推進に関する決議」に係る  
要請議員団報告書

上記のことについて、別紙のとおり報告します。

## 別紙

「おきなわ彩発見キャンペーン事業の推進に関する決議」に係る要請議員団  
報告書

### 1 派遣議員

団長	西 銘 啓史郎	
	大 城 憲 幸	大 浜 一 郎
	上 里 善 清	玉 城 武 光
	仲 村 未 央	翁 長 雄 治
(同行議員)	新 垣 光 栄	上 原 章

### 2 派遣目的

令和3年第10回議会（定例会）の12月21日の会議において議決された上記決議の趣旨を関係要路に要請するため。

### 3 派遣期間

令和3年12月21日(火) （1日）

### 4 要請日程

別紙のとおり

### 5 要請概要

団長が決議の趣旨を説明した後、観光産業団体及び旅行会社からの要請への迅速対応、県民への周知方法の再考、予算の完全執行に向けた各種の対策、県外観光客への知事自らのメッセージ発信等について強く要請した。

### 6 要請における対応者等の主な発言及び質疑応答の概要

#### (1) 団長 西銘 啓史郎

○おきなわ彩発見事業については、これまでの実績や課題を踏まえて第4弾が実施されていると理解しているが、我々も観光産業団体や旅行社からいろいろな声を聞いている。

○精算が非常によくなった、QRコード活用により旅行会社の負担が軽減されたという声も聞こえるが、一方で、県のホームページからなかなか見つから

ない、つながらない、キャンペーンの内容が県民に理解されていないという声もある。

- 12月12日現在で五十数億の予算を使ってまだ19%くらいの執行率であり、いろいろと足りない部分もあると感じているので、各議員からの意見も聴いてほしい。

## (2) 副知事 照屋 義実

- 経済再生に向けた御尽力に大変感謝する。
- 当該事業について、12月20日時点における執行状況としては、クーポン全体の発行数86万セットに対して約18万セット、21%が出ている。販売額はクーポン原資約56億円に対し約11億4500万円、約20%であり、順調に進んでいるものと認識している。さらに県民への周知を図りキャンペーンの利用を促進してまいりたい。
- 事業者の皆様には説明会等々で御意見・御要望を承っており、適宜販売促進に努めながら運用改善を図っていきたいと考えている。
- 引き続き旅行会社の皆様や観光事業者の皆様と連携・協力を図りながら全額執行に向けて取り組んでまいりたい。
- 本件については、知事にも報告したい。

## (3) 主な発言及び質疑応答等

### 【 各議員からの発言要旨 】

- 今回は60億余の予算がついて、関係団体一緒になってよりよい仕組みになっていると考えて進めてきたが、残念ながらなかなか厳しい意見が思いのほか多い。今具体的に要請したように、もう一度しっかりと周知して60億の予算をしっかりと執行できるようにやってほしい。知事からのメッセージ発信という部分は求める声が非常に大きかったが、オミクロン株の関係でタイミングが難しくなり非常に気にしている。

要請項目にはないが、レンタカーやバスを含めて一本当にGoToも順調に進んでいってほしいが、その際に人的な部分や配車等が本当に対応できるのかという点について県との連携が必要だとの声があるので、しっかり対応していただきたい。

- しっかりとこの予算を完全執行していただきたい。やはり分かりづらいということで、県民にもっと分かりやすいような周知をしてほしい。
- コロナがどうにか落ち着いて、その途端にまた軽石で非常に大きな負担を感じている中で、それゆえに本当に当該キャンペーンに対する期待が大きい。

そこはぜひ今上がっている課題に対して早急に整えて、迷いなく県民の皆さんがこれを活用できるようにお願いをしたい。

一方、例の米軍のクラスターをめぐる検疫に大きな穴が空いている部分については、そもそものこの仕組みの問題も非常に大きい。もろもろの課題を抱えながらも、回せる部分の需要を何とか喚起して取組を促進してほしい。

- 当該事業を進めるためには、やはりきちんとしたワクチンパスポートの普及も必要ではないかと思う。その中のPCR検査の部分も含めてマイナンバーカードでやっていくということであるが、沖縄県はマイナンバーの登録率が30%で全国最下位の状況。観光を推進するに当たって、県としてその辺の課題への対策が必要ではないか考える。しっかりと対応願いたい。
- いろいろな観光産業の方々から、一生懸命やっているが執行が思うようにいかないという声が聞こえてきて、その辺のアンバランスが現場で起きている。皆さんからあるようにしっかりと全額執行—これを最命題として頑張ってもらいたい。
- 今までにない規模の経済対策ということで大きな予算が今執行されており、身近な飲食店や観光業の皆さんからすると、どうにかこの年末年始は乗り切れるかなという話をしていたところであった。そこに来てオミクロン株が入ってきて、不透明な部分がちょっと多くなってしまった。ぜひ、ワクチンだけではなくて検査態勢をしっかりと維持していただいて、安心して経済が回せるような形をつくっていただきたい。
- 県民や業界の声を聞きながら、周知徹底と予算の完全執行をぜひお願いしたい。
- 知事の決断で離島のほうが前倒しでできたのは非常によかった。ただ、現場の観光業界の最前線にいる人と県の説明がかみ合っていない。本当にプレーヤーと県が政策のすり合わせをして、しっかり前に進めないといけない。  
また、ワクチンパッケージのデジタル化に関しては、沖縄が先進地となるような前向きな実証実験等も取り入れながら、今後の再興に努めていただきたい。我々も協力する。

#### 【 照屋義実副知事からの発言要旨 】

- 全議員の皆さんの御尽力で決議をいただいた。
- コロナが落ち着いて、いよいよ出口戦略を発動する時期ということで部局職員も一生懸命に頑張ってきたところだった。
- やはり現場からはいろいろな声があり、まだそごがあるのかなと感じている。これまでの課題や反省点を踏まえて組立ててきたつもりだが、周知がまだ行

き渡っていないのか、コロナ禍のハレーションでまだ県民が押し取り刃で乗り出してきているのか分からない部分もあるが、いずれにしても完全執行に向けて万全を期して全力で取り組んでまいりたい。

- 旅行者等からの御意見や御指摘については、これから先のクーポン販売状況、在庫状況等を確認しながら、旅行代理店には希望する額面のクーポンを再配分するというような形でリバランスを取っていく。また、キャンペーンの利用に関する問合せが旅行代理店に集中している点については、コールセンターを置いてそこに集約していく。
- 県民への周知に関しては、これまでの反省に立ってクーポン式に改め、幅広い観光関連業者への波及を図るために券種を多く設定したが、内容が複雑だという苦情も多くある。コールセンターの人員の増加やマニュアルの強化、ラジオ・新聞、OTAや宿泊施設などを通じた宣伝など、県でもさらに工夫した周知が取り図られるよう努力したい。
- 知事自らの来県メッセージについては、去年の苦い教訓を生かし、知事による国内一般観光客やリゾートウエディング向けの来県メッセージを動画で配信する準備をしておき、Go To トラベルの再開などの適切な時期にメッセージをしっかりと発信できるように努めていきたい。

以 上

別紙

要 請 日 程

月 日	曜日	時間	要 請 先 等	場 所
令和3年 12月21日	火	13:10 ) 13:30	沖縄県知事 (対応者：照屋義実 副知事)	照屋副知事 応接室